

園長だより
12月



ちゅうぶっ子

R6. 12.13発行

発行者

出雲市立中部幼稚園

園長 高橋 均

気がつけば、今年も余すところ、あと半月ほどとなりました。月日の経つのは本当に早いですね。保護者、地域の皆様も、年の瀬を迎えて慌ただしい毎日をお過ごしのことと思います。

さて、中部幼稚園の2学期は、まだまだ残暑がきびしい中でのスタートとなりました。大きな行事が続いた2学期を簡単に振り返ってみたいと思います。

『家族運動会』では「こころ あつい！ あつい！ げんき もりもり うんどうかい」のタイトルの言葉どおり、子供たちは心も体も熱く燃え上がらせ、競技や応援、係の仕事（年長）に力いっぱい全力で取り組みました。久しぶりに、たくさんのおじいさんやおばあさんもお孫さんの応援にでかけてくださり、とてもにぎやか運動会になりました。

秋晴れの天気恵まれてウキウキ気分であまごさんこうえんに出かけた『秋の遠足』。やぎや馬にエサをやったり、山に落ちている木の実を拾ったり、めずらしい遊具で遊んだりして大いに楽しみました。

斐伊川土手の草の上を何度も繰り返し滑ってスリルを味わった『土手滑り』。袋の中に入れて滑ったり、二人一組になって滑ったり、スノーボードのように立って滑ったりと、子供たちの工夫には限りがありません。斐伊川土手が子供たちのキラキラ笑顔と大きな歓声に包まれました。

みんなで大事に育てたさつまいもを園庭で焼いて食べた『やきいも』。ホクホクでアツアツの味は格別でした。お隣の小学校にも年長の子供たちがおすそ分けに出かけ、小学



校の先生方に喜んでもらいました。

たくさんの野菜を豚汁やごまあえ、サラダなどにして、感謝していただいた『わいわい収穫祭』。どの学年でも野菜を育てることを大事にして、命の不思議さやありがたさを感じてほしいと願って取り組みました。

そして、日頃の園での学びの成果をおうちの人や地域の皆さんの前で披露した『生活発表会』。緊張しながらも、みんなで力を合わせてやり遂げ、クラスの絆を深めることができました。

また、今年度も直江・久木地区の地区民体育大会に全園児で出かけてバルーンダンスを発表したり、久木地区の文化祭での年長児による歌の発表や全園児の作品展示、地区のお年寄りの皆さんへの敬老のはがきの送付など、園児の元気を地域へ届ける機会もいただき、園児に人の役に立つ喜びや自信を育むことができました。

このように、たくさんの行事を経験したり、園での日々の遊びや生活を通して、どの子どもその子のペースで心も体もたくましく成長することができた2学期でした。



中部幼稚園は、12月26日（木）～1月7日（火）まで冬休みになります。年末年始は楽しい行事がたくさんあり、生活のリズムが崩れやすくなりがちですが、インフルエンザなどの感染症にかからないよう気を付け、ご家族全員そろって元気に過ごされますようお願いしております。それでは皆様、良い年をお迎えください。

Desejo a todos um ótimo final de ano !

